高蔵寺どんぐりｓ

ふれあいだより

NO 106

2018. 10. 1

ＮＰＯ法人　高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行（☎080-4540-3553）

9月の「どんぐりｓカフェ」から

市民が再生「愛岐トンネル群」の魅力

9月15日の「どんぐりｓカフェ」は、「愛岐トンネル群の魅力」と題し、JR中央線の旧トンネル群が、発掘されてから現在に到る保存活動の経緯について、保存再生委員会の初代理事長の山本勝利さんにお話を伺った＝**写真**。

12年ほど前にJR勝川駅の建替え工事の際に、プラットフォームに使用されていた明治赤レンガ保存の話から、それを契機に愛岐トンネル群の探索が始まった。市民グループにより、藪と化した雑木林の中を切り開いて調査をした結果、

貴重な歴史遺産が発見され、順次4カ所の整備が行われた。その涙ぐましい努力と熱意溢れる活動には頭が下がる思いであった。その後、3号から6号に到る土地もナショナルトラスト運動により取得し、また国の登録有形文化財にも認定された。春には新緑、又秋には紅葉と毎年2回の見学会が行われ、多い時には1日6000人の人が訪れるなど大変な人気となっている。将来的には定光寺駅から古虎渓駅、さらには多治見駅まで貫通した遊歩道を整備し、市民に開放するなどの展望がある。

この活動を発展・継承していくには様々な課題があると思われるが、このような貴重な産業遺産を、ぜひとも残して後世に伝えていただきたい気持ちでいっぱいとなった講演会であった。

（**長谷川　光男**）

役員会から（9月15日）

●役員会に先立ち、同日開催された山本氏の講演“愛岐トンネル群の魅力”に話が及び、保存会の並々ならぬご努力に対する賛辞と、これからの「どんぐりｓ」の活動への教訓にしなければ、との声が寄せられた。●「くらし相談員会」から、「大人のたまり場」の活動の一環として、東高森台に設置されているサ高住「どんぐりの家」を会場として“落語会”を開催する方向で検討が進んでいるとの報告あり。東高森地域の活性化並びに「大人のたまり場」の活動を知ってもらう機会となることを期待したい。●11月の「どんぐりｓカフェ」での“古本市＆ガレージセール”を東部ほっとステーションの加盟団体との共同イベントとして開催する案について協議。東部ほっとステーションの新しい活動スタイルの模索でもあり、成り行きを注目したい。●役員の高齢化が進行する中、山積するニュータウンの課題にどう応えていくか、について意見交換。今回は「どんぐりｓカフェ」の内容・広報宣伝等に終始したが、次回以降引き続き協議していく予定だ。　（**藤城　栄一**）

10月の「どんぐりｓカフェ」・座談会

テーマ：「地域医療に携わって26年」
講　師：田島正孝氏（田島クリニック前院長）
日　時：10月20日（土）、13.30-16.00
会　場：東部ほっとステーション
（サンマルシェ南館、1階）
参加費：200円

小学校統廃合テーマに勉強会
厚い「適正規模」の壁

春日井市企画政策課の勝課長、ニュータウン創生課の村上課長補佐の両氏を迎えて押沢公園集会所で9月18日、「少子化時代の小学校統合例」というテーマによる「勉強会」が開かれた。まず勝課長から藤山台3小学校の統廃合を具体的な事例とした「小中学校の適正規模等について」の講演があった。

参考資料によると平成22年には「藤山台中学校区学校規模適正化協議会」が設置され、翌年「小学校適正規模化に向けて」という表題の「意見書」が提出された。国の小学校の適正規模では1学級35～40人、学級数は12～18学級、と言われている。平成23年度の、藤山台の3小学校合わせての児童数は約600人であり、単純に計算すると1校200人と算出される。１校ではとうてい適正規模を確保することは難しい状況であった。また同資料によると平成30年度の石尾台中学校区の児童数は石尾台小学校で198人、押沢台小学校では218人。学級数（普通）はそれぞれ6学級と7学級。つまり1学年1クラス程度である。石尾台中学校区での小学校の統廃合についての具体的な話は出なかったが、現状は藤山台3校の統廃合以前の状況と大差なく、いずれ近い将来小学校統廃合問題は避けて通れない重要な課題だと思われる。

参加者からは「3小学校の統廃合と高蔵寺リ・ニュータウン計画との整合性が認められず、小学校統廃合問題が独り歩きしている」、「適正規模を優先すると、統廃合しか選択肢がないことになる。国はもっとその地域の特性を重視し、たとえ適正規模に満たなくとも補助金の対象とするような柔軟な対応が必要である」などの意見が出された。　**（寺島　靖夫）**

私の朝・昼・晩

孫3人に想う

私は今年78歳になった。２年前、長男夫婦に初孫（男子）が生まれ、今年６月二人目の孫（男子）が誕生した。続いて8月には長女夫婦にも初めて女児が生まれた。私はこの年になって、遅まきながら3人の孫を持つことになった。だが残念なことに妻は6年前、孫の顔を見ることなくこの世を去った。一人住まいとなった私はこの子らの成長を楽しみにしているが、気になることもある。幼子のあどけない顔を見ていると、ふとこんな想いが浮かんでくる。

この子達が成人する頃、20年後の世の中はどうなっているのだろうかと。私は若い頃、「時代とともに人類は進歩し、この世の諸問題は順次解決されて平和な世界になっていくだろう」と素朴に考えていた。しかしそれは幻想であったようだ。近年色々と気がかりなことが多すぎるのだ。環境破壊と異常気象、原子力発電、国際紛争、難民問題、超高齢化社会等々、気になる課題が山積している。

どれ一つとっても簡単に解決する問題ではないが、これらが今後少しでも良い方向に進み、穏やかで平和な世界が訪れるのを願わずにはいられない。　**（山上　薫）**

メタセコイア並木（滋賀県高島市）　**森　健**

10月の「高齢者・すまい無料相談」

●お電話か又は直接面談会場にお越しください
☎080-4540-3553（どんぐりｓ事務局）
面接相談会日時：
10月7日（日）13：30～16：00
会　場：東部ほっとステーション

10月の「大人のたまり場」

日　時：10月10日（水）、24日（水）
（ともに13：00～16：00）
会　場：「大人のたまり場」
（高森台6丁目東高森台集会所そば）
参加費：２00円
連絡先；☎080-4540-3553